

北陸新幹線の整備促進について

北信越部会提出
説明担当 敦賀市

北陸新幹線は、高速交通体系の柱として日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に必要不可欠なものであり、本県だけでなく沿線地域の活性化や経済の発展に大きく寄与し、飛躍的な発展をもたらすことが期待されます。

さらには、大規模災害時における東海道新幹線の代替補完機能を果たすことから、災害に強い強靱な国土づくりに大きく資するものであります。

金沢－敦賀間の平成34年度末までの開業に向け、新たなスケジュールに基づき、関係機関との連携を強化し、着実に事業を推進していくとともに、大阪までの全線フル規格による整備の実現が求められます。

つきましては、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 平成34年度末までの敦賀開業が確実に実現するよう、具体的な工程を明確に示し、積極的な推進を図ること。
- 2 敦賀以西については、昭和48年に決定された整備計画（若狭ルート）に基づき、大阪までの全線フル規格による整備を速やかに決定すること。
- 3 フル規格の新幹線による敦賀駅までの運行本数を金沢駅までの運行本数と同数確保するなど、関西及び中京方面との接続に係る乗客の利便性の向上が図れるよう方策を講じること。
- 4 並行在来線の経営分離後の安定的な経営の維持及び利便性の向上が図れるよう積極的な財政支援を行うとともに、沿線自治体に過度の負担が生じないよう適切な措置を講じること。